

国立遺伝学研究所運営会議（第137回）議事要旨

日 時 2024年2月21日(水) 14:00 ～ 16:42

場 所 国立情報学研究所19階1902,1903会議室

出 席 (所外委員) 上村委員、大杉委員、胡桃坂委員、塩見委員、菅野委員 (副議長)、
高橋(智)委員、高橋(淑)委員、
(所内委員) 仁木委員、平田委員 (議長)、前島委員、有田委員、宮城島委員、
鐘巻委員、岩里委員、澤委員

運営会議が出席を必要と認めた者 花岡所長

事務局 管理部長、総務企画課長、財務課長、その他関係職員

会議に先立ち、事務局から、会議の成立要件の定足数（過半数の出席）を満たしている旨の報告があった。

(所長挨拶)

所長から、挨拶があった。

議 事

審議事項

(1) 国立遺伝学研究所長候補者の選考について

所長退席後、議長から、所長候補となるべき適任者の推薦状況について、4名の推薦があった旨、資料1に基づき、報告があった。次いで、被推薦者4名からの所信聴取及び質疑応答が行われた。審議の結果、被推薦者4名を所長候補適任者とすることを承認した。

その後、意見交換が行われ、以下のことが決定した。

- ・ 今回の所信聴取及び質疑応答を踏まえたうえで、所長候補適任者全員に対する質問がある場合には、質問と回答を取りまとめ、選考資料として委員に配付する。また、次回運営会議の資料とする。
- ・ 所内で所長候補適任者と所員との面談の機会を設ける予定であり、委員から、その際の所員の反応を知りたい旨、要望があったため、所員の意見や感想を共有する。
- ・ 所長候補者選出の投票前に議論の時間を設ける。
- ・ 今後選考プロセスをより分かりやすくするため、選考規程の見直しを行う。

(2) 研究教育職員の人事について

● 遺伝形質研究系教員の選考について

所長から、本人事の背景について説明があり、次いで、人事委員会委員長である前島委員から、人事委員会において適任者として選考した候補者の研究業績、選考の経過及び選考の結果等について、資料2に基づき、説明があった。運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、候補者が投票総数の過半数の可票を得たことから、原案どおり承認した。

●先端ゲノミクス推進センター教員の選考について

人事委員会委員である仁木委員から、人事委員会において適任者として選考した候補者の研究業績、選考の経過及び選考の結果等について、資料3に基づき、説明があった。運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、候補者が投票総数の過半数の可票を得たことから、原案どおり承認した。

(3) 2024年度客員研究部門教員の選考及び称号付与について

所長から、2024年度客員研究部門における新規候補者3名及び任期延長者1名について、資料4に基づき、研究業績や任期延長の理由等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(4) 2024年度国立遺伝学研究所共同研究・研究会の採択について

共同利用委員会委員長である澤委員から、2024年度国立遺伝学研究所共同研究・研究会の申請状況、採択案及び予算の配分方針案について、資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(5) 「情報・システム研究機構国立遺伝学研究所研究教育職員の人事の進め方について」の一部改正について

所長から、「情報・システム研究機構国立遺伝学研究所研究教育職員の人事の進め方について」の一部改正について、資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

関連して、委員から、人事委員会のジェンダーバランスについて、これまで議論があったか質問があり、所長から議論は行われていない旨回答があった。

報告事項

(1) 研究教育職員の人事異動について

所長から、研究教育職員の人事異動について、資料7に基づき、2023年10月から2024年2月の間の人事異動の報告があった。

(2) 令和5年度補正予算及び令和6年度予算（案）主な事項について

仁木委員から、令和5年度補正予算及び令和6年度予算（案）の主な事項について、資料8に基づき、報告があった。

(3) 第26回生物遺伝資源委員会について

生物遺伝資源委員会委員である仁木委員から、第26回生物遺伝資源委員会について、資料9に基づき、議事の概要等の報告があった。

(4) 第29回事業委員会について

事業委員会委員長である前島委員から、第29回事業委員会について、資料10に基づき、議事の概要等の報告があった。

(5) 2024年度国立遺伝学研究所特別共同利用研究員募集要項について

所長から、2024年度国立遺伝学研究所特別共同利用研究員募集要項について、資料11に基づき、報告があった。

(6) 令和6年能登半島地震被災地の研究者支援「緊急共同利用・共同研究」について

共同利用委員会委員長である澤委員から、令和6年能登半島地震被災地の研究者支援「緊急共同利用・共同研究」について、資料12に基づき、報告があった。

その他

所長から、所外委員への謝意が述べられた。

以 上